

梅雨前に考える、 家の湿気対策。



春

から初夏へと季節が移り変わるころ、気になり始めるのが梅雨の湿気です。雨の日が続くと室内の空気が重たくなり、においやカビの原因にもつながります。だからこそ、本格的な梅雨の前に住まいの湿気対策を整えておくことが大切です。

ま

ず心がけたいのは、家の中の空気を動かすこと。湿気はよどむ場所にとまりやすいため、窓を開けて風を通す習慣が効果的です。対角線上の窓を開くと自然な風の流れが生まれ、湿気が外へ逃げやすくなります。また、押入れやクローゼットは湿気がこもりやすいため、扉を開けて風を通し、中を



整理して空気の通り道をつくることもポイントです。

湿

気が増えると気になる「カビ」は、湿度が高く空気が動かない場所に発生しやすくなります。室内湿度を60%以下に保つことを意識し、浴室や洗面所など水分が残りやすい場所はこまめに乾燥を。

カーテンや布団などの布製品も湿気のため込みやすいため、晴れ間に風を通すと安心です。

安

成工務店の住まいでは、こうした工夫に加えて「パッシブエアコン」が家全体の温度と湿度をやさしく整え、梅雨でもさらりとした空気を保ちます。日々の小さな工夫と住まいの仕組みを上手に活かし、これから迎える雨の季節も心地よくお過ごしください。

